

メンタル疾患で休職中の患者さま、ご家族さまへ

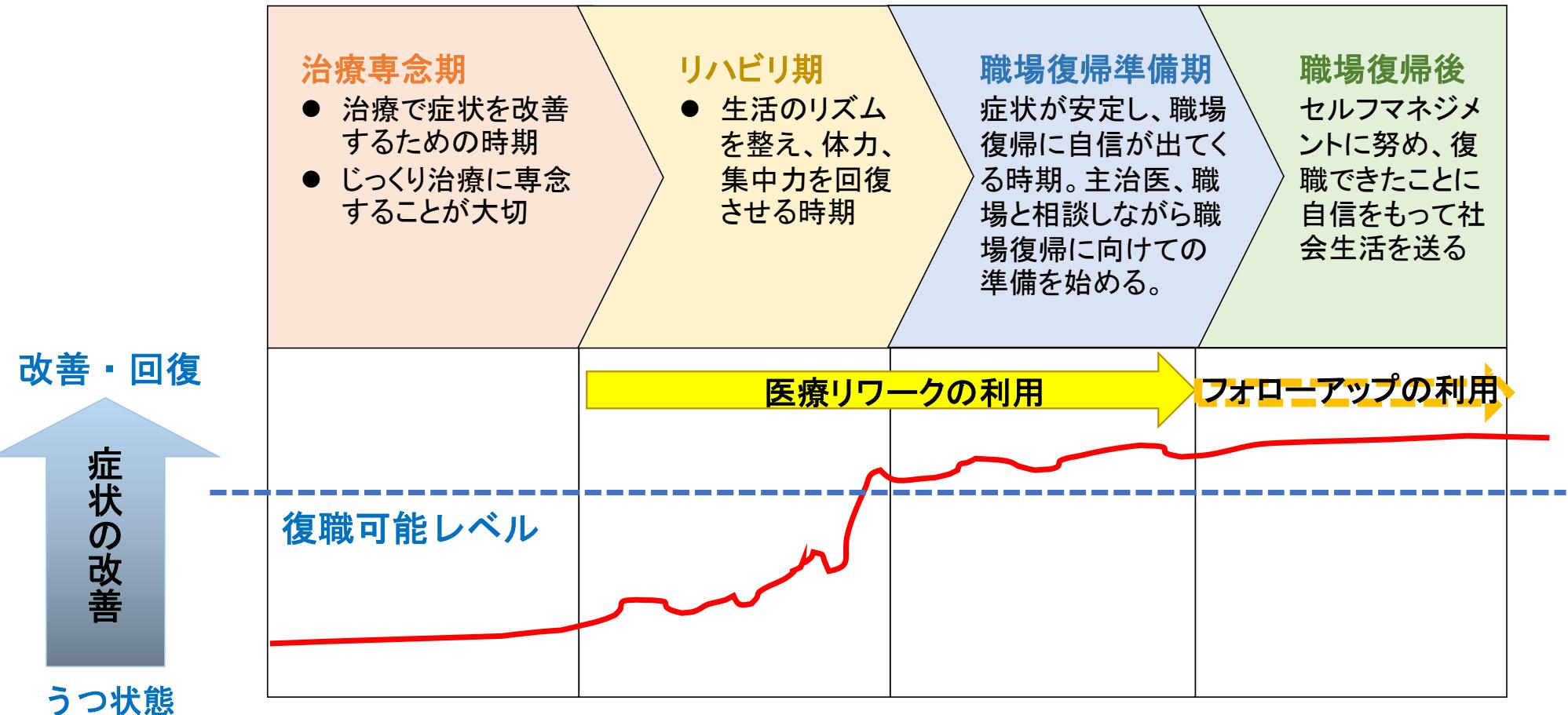
医療リワークのご案内

～職場復帰までの流れ・リワークの活用方法～



一般社団法人
日本うつ病リワーク協会
Japanese Association of Rework for Depression

休職～職場復帰までの道のり



治療専念期に必要なこと

治療専念期とは…

主治医に「こころの病気のため自宅療養が必要」と診断されてから、「症状が改善しはじめてきた」と判断されるまでの期間

この時期に必要なこと

体を休めるのはもちろん、こころも十分に休ませ、**じっくりと治療に専念することが大切**

リハビリ期に必要なこと①

～こころのリハビリの必要性～

リハビリ期とは…

治療の効果が徐々に現れ、症状がより改善してくる時期

この時期に必要なこと

職場復帰を見据えつつ、焦らずに気力・体力を整える

職場復帰のためのウォーミングアップ

1. 生活・睡眠覚醒リズムの回復
2. 体力・集中力の回復
3. 再発予防のためのこころのリハビリ

→ 自己分析により自分の課題に気づくこと

リハビリ期に必要なこと②

～治療を目的としたこころのリハビリ「医療リワーク」～

リワークプログラムとは

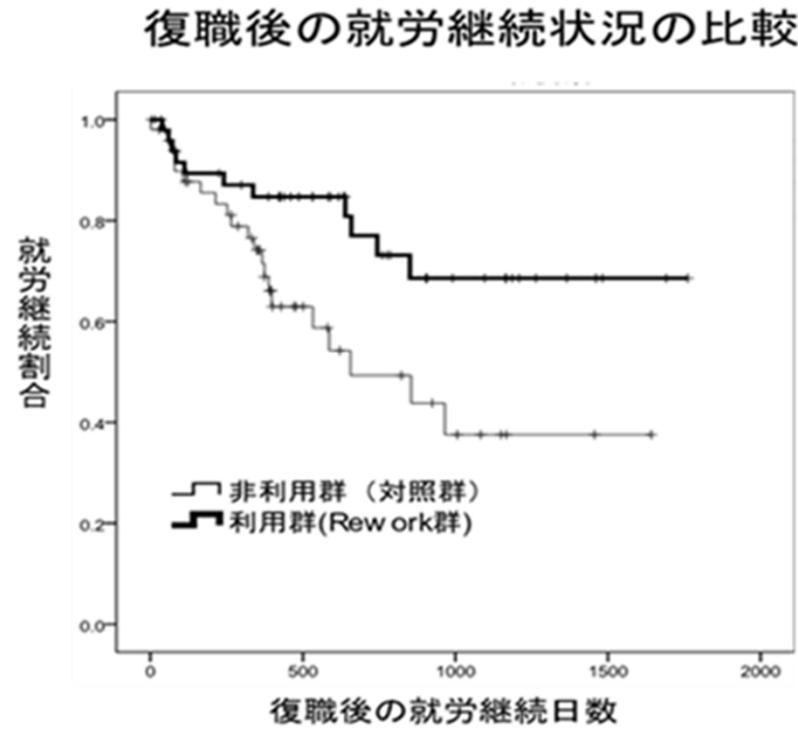
- ・職場復帰のためのプログラム
- ・「こころのリハビリ」を集団活動の中で体感しながら身に付けていく

医療リワーク(医療機関で行うリワークプログラム)の特徴

- ・対象はうつ病などの気分障害
- ・医学的リハビリテーションを行う
- ・プログラムを通して自己理解・再発予防を考えられる

リハビリ期に必要なこと③

～医療リワークの効果～

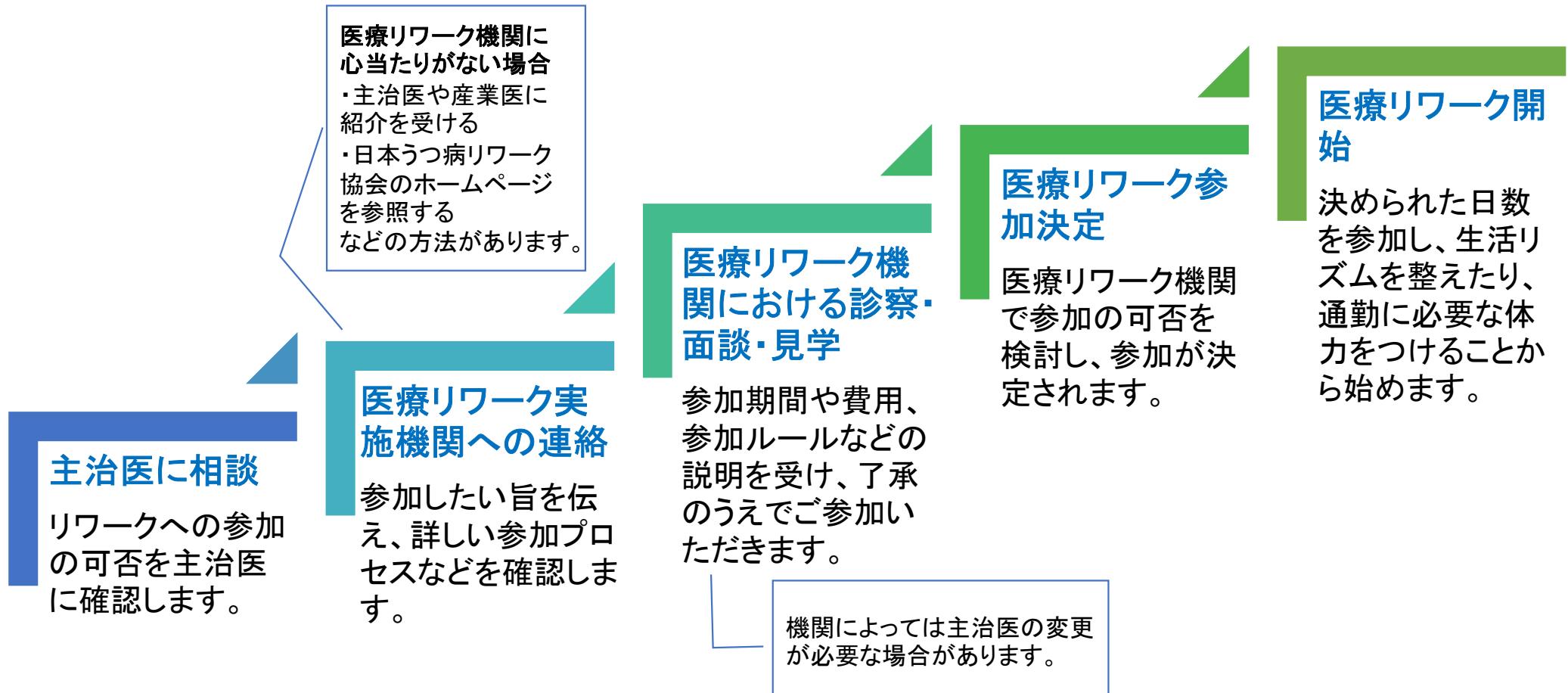


- ・リワークプログラム利用者は、非利用者と比較して就労継続状況が有意に良好
- ・リワークプログラム非利用群の再休職リスクは、利用者の約2倍

復職後の就労継続に関する効果研究 平成24年度厚生科学研究より

リハビリ期に必要なこと④

～医療リワークの利用方法～



リハビリ期に必要なこと⑤

～医療リワークのプログラム～

プログラム例

月	火	水	木	金	土
10:00	朝のミーティング				
12:00	ストレスマネジメント	ストレッチ/運動	オフィスワーク	アサーション	オフィスワーク
13:00	(昼食・休憩)				復職後フォローアップ
16:00	オフィスワーク	ティベート	集団認知行動療法	心理教育	ミーティング
	一日の振り返り				

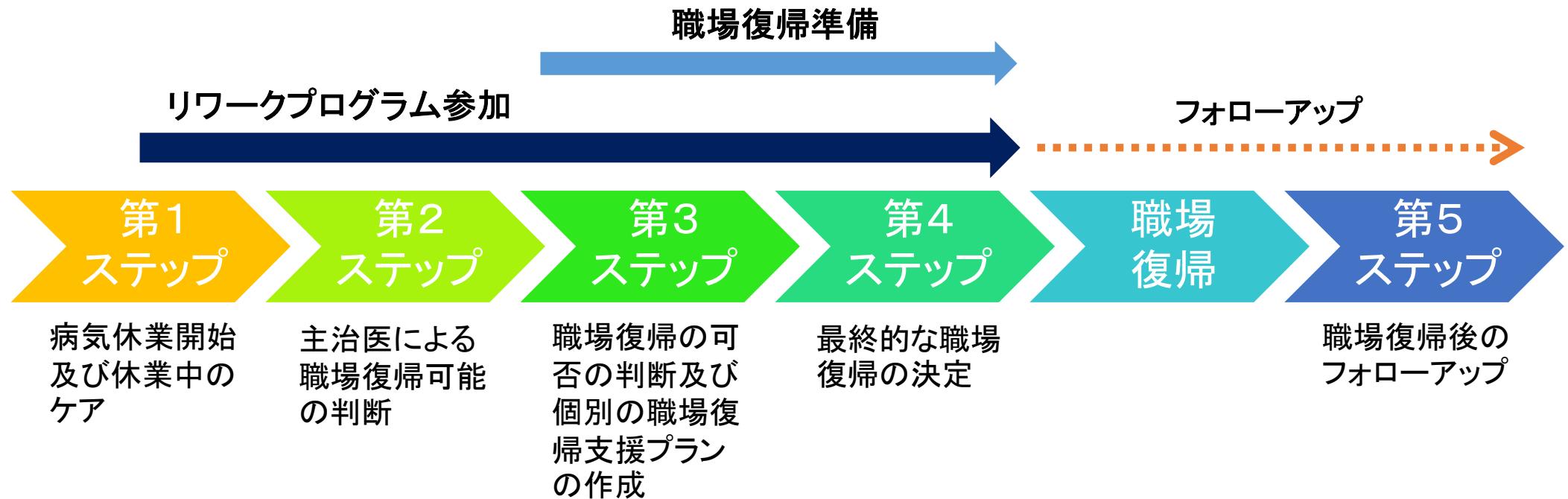
リハビリ期に必要なこと⑥

～プログラムの内容～

プログラム	内容
個人プログラム	机上での作業を一人で行い、集中力や作業能力の確認、向上を図る。 例)オフィスワーク
特定の心理プログラム	認知行動療法(うつ病になりやすい考え方の再認識や修正)、SST(対人関係に関する技能の訓練)など特定の心理療法
教育プログラム	うつ病の症状の自己理解を目的として、主に講義形式で病気について学ぶ。 例)心理教育
集団プログラム	実際に役割分担をしての共同作業などをを行い、対人スキルの向上などを目指す。 例)ミーティング
その他のプログラム	運動プログラム、個人面談など

職場復帰準備期に必要なこと

職場復帰の流れ



出典:「改訂 心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き」(厚生労働省)より作成

職場復帰準備期に必要なこと

職場復帰準備期…

治療経過や現在の病状、今後の治療計画などを職場に伝え、職場の産業保健スタッフが復帰可能かどうかを判断する

→ 職場復帰後のミスマッチが起こりやすい

医療リワーク施設による職場との連携

・医療リワーク施設より、治療経過や本人の特性、復職後の働き方のポイントを職場に情報提供することができる

→ 情報共有を通してスムーズな復職を目指す

職場復帰後に必要なこと

職場復帰後の再発予防

- ・薬物療法の継続
- ・就寝・生活リズムの安定、維持
- ・医療リワークにおけるフォローアッププログラムの利用
　悩みを抱えた時に相談できる場
　セルフケアの点検、修正を行う

さいごに

医療リワークを実施している施設情報は一般社団法人日本うつ病リワーク協会のホームページをご覧ください。

